

第5次行田市総合振興計画 まちづくり指標取組状況報告書

No.	98	指標名	歴史や文化との調和を感じている市民の割合	単位	%	5総振ページ	169
策定時		32.0					
H23年度末							
H24年度末							
H25年度末							
H26年度末		40.9					
H27年度末							
5年後目標値 (H27年度末)		40.0					
10年後目標値 (H32年度末)		45.0					
<p>[凡例] 実績 <span style="color:blue">—◆—</span> 5年後目標値 <span style="color:red">- - -</span> 10年後目標 <span style="color:red">- · -</span></p>							
H26末値による中間評価結果		5年後目標値を達成		10年後目標値・変更後 (※ H26又はH27年末で10年後目標値を達成している場合のみ)			
前期(平成23年度～平成27年度)取組状況							
実施年度		実施内容					
H24		市民のふるさと意識を醸成するため、文化財めぐりを2回開催。また、まちづくり出前講座や市民大学の講座にて、行田の歴史や文化財について講義を行う。新規に、文化財愛護ボランティア養成講座を開催。					
H25		文化財めぐり2回と、「古代史連続講座」を開催。また、前年度「文化財愛護ボランティア養成講座」を受講者に文化財愛護ボランティアとして活動を依頼。また、まちづくり出前講座や市民大学の講座にて、行田の歴史や文化財について講義を行った。					
H26		講演会「行田の古代史を探る」を開催した。また、文化財めぐりのバスツアーを2回開催、まちづくり出前講座や市民大学の講座にて、行田の歴史や文化財について講義を行う。文化財愛護ボランティアとともに新しい散策コースの資料作りを行う。					
H27		文化財めぐりのバスツアーを2回開催、まちづくり出前講座や市民大学の講座にて行田の歴史や文化財について講義を行う。文化財愛護ボランティアとともに新しい散策コースの資料作りを行った。					
後期(平成28年度以降)の予定							
引き続き、文化財めぐりの散策や、まちづくり出前講座や市民大学の講座にて、行田の歴史や文化財について講義を行う。文化財愛護ボランティアとともに新しい散策コースの策定を行い、また、新規に公民館や小中学校で地域の遺跡から出土した遺物(出土品)の展示を行い市民のふるさと意識を醸成するために努める。							
備 考							